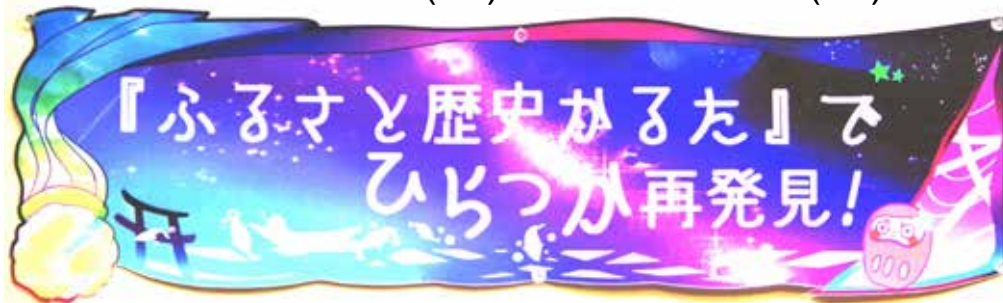


2013年9月12日(木)～10月30日(水)



期間：9月12日(木)～10月30日(水)まで 会場：平塚市博物館1階寄贈品コーナー

9月4日(水)から11日(水)までの延べ7日間にわたり、学芸員資格取得を目指す大学生や大学院生18名が当館において学芸員実習を受講しました。実習生の皆さんは資料整理から教育普及事業、展示制作と様々な博物館の仕事を体験しました。その集大成となる寄贈品コーナーの展示を、ぜひご覧ください。

平塚市博物館では、毎年この時期に、寄贈品コーナーを利用して博物館実習生たちによる企画展示を行っています。

今年、私たちは『ふるさとと歴史かるた』でひらつか再発見！という展示を制作しました。展示の中心に据えた『ふるさとと歴史かるた』は平塚市教育委員会社会教育課が作成した、平塚市の名所や魅力を伝えるものです。



裏打ちの会の方たちと古文書の補修作業

平塚市は自然豊かな歴史ある地域で、この地に設立された平塚市博物館は分野を問わず、「相模川流域の自然と文化」というテーマで資料が展示されています。そして、この資料の中にはかるたの題材となったものが多数所蔵されています。

また、平塚市は海や山、川など様々な地形をその市域内に有しています。これら変化に富んだ地域の特色と資料をより身近に感じていただきたいと考え、資料を地域別に分け、地図を作りました。

しかし、寄贈品コーナーだけでは、かるたの全ての資料を展示することはできませんでした。そこで、常設展の中にもかるたの札を配して、さらなる資料の拡充も図っています。全館にわたってほどこされた『ふるさとと歴史かるた』の展示をお楽しみいただければ幸いです。 博物館実習生 佐々木孝啓



かるたの妖精「かるたちゃん」



完成した展示と実習生一同、お疲れ様でした！